



じゅうしょ なんじゃい めいしょう だいとくさんさいこうじ しゅうは そうとうしゅう  
住所 南蛇井1133-1 名称 大徳山最興寺 宗派 曹洞宗

おお にそう さんもん ゆうめい けん けん いりもやづくり りっぱ  
大きな二層の山門が有名である。3間2間の入母屋造で、立派な

ちょうこく きざ しし ばく とうぶ みず うさぎ まつ  
彫刻が刻まれている。獅子や獺の頭部のほか、水に兎、松に

たか りゅう みごと す ほ おおすみりゅう  
鷹、龍が見事な透かし彫りで表されている。これは、大隅流と

え どじだい すわちほう かくりつ じしゃけんちくりゅうは とうりょう  
いう江戸時代ころに諏訪地方で確立され、寺社建築流派の棟梁が

せっけい ぶんきゅう ねん ねん じょうとう  
設計し、文久3年(1863年)に上棟したとされている。